



うどんまるとエコツアー（ちよだ製作所）

任意団体 うどんまると循環コンソーシアム

うどんまると循環プロジェクト

一般助成

1年目

実践

環境教育としての
出前講座回数

3回

エコツアーの実施回数 4回

活動の全体目標に
対する達成度

80%

課題

香川と言えばさぬきうどん。その食べ残し等を焼却処分からバイオガス化、発電、堆肥化へとシフトし、エネルギー循環を目指したい。また発生源である食品ロスを削減したい。

活動内容

うどん残渣等の食品廃棄物の受入れ量を増やすためうどん店への働きかけについて検討した。うどんの残渣からできた肥料を使って小麦の栽培を行い、うどんを作ると言う循環の過程を小学校等での環境教育、エコツアーで紹介し理解を深めた。食品ロスの削減について県の協議会に参画し意見交換を行った。類似プロジェクトの勉強会を通じて今後の展開を検討。報道機関へは情報提供を頻繁に行い、取材を通して広く活動の周知を行った。



うどん肥料を使った
小麦畑収穫体験

今後の課題

自主財源の手段となる固形肥料の商品化について道筋がまだ見えておらず、先行事例の情報収集が望まれる。うどん店の参画へと拡がり期待されるが、現状調査やヒアリング、参画依頼はこれからである。

成果と工夫したポイント



成果

食品廃棄物の受入れは提供率が50%増加。小学校、大学、高等専門学校各1校の計3校で授業を行い、エコツアーには150名が参加。イベント参加3件。先行プロジェクト勉強会を1回開催。報道機関からの取材4件。

工夫

食品ロス削減については県の協議会に参画し、様々なステークホルダーとの意見・情報交換を行った。